

■中尾佐助 植物学者。探検による発見をもとに、「照葉樹林文化論」を提唱し、「分類の発想」とともに、広く影響を及ぼした。

なかおさすけ

民本主義・1916 = 愛知県豊川市金屋町で、江戸時代以来の鋳物業を営む{中尾工業}の次男に生まれる。

原敬首相暗殺 1921 = 5歳：

幼少時から植物が好きで、種苗会社から珍しい種を取り寄せ、温室まで作って貰う恵まれた環境に育ち、

治安維持法・1925 = 9歳：

小学校時代には、「牧野日本植物図鑑」を読みふけて、卒業するまでに、植物名をあらかじめ覚えてしまうとともに、のちの専門分野での知識のベースになったという。

満州事変・1931 = 15歳：

帝人疑獄事件 1934 = 18歳：

芥川直木賞始 1935 = 19歳：

日中戦争始・1937 = 21歳：

健保+総動員 1938 = 22歳：

第二次大戦始 1939 = 23歳：

第八高等学校理科甲類に入学。

当然のごとく、京都帝国大学農学部農林生物学科に入学するとともに、旅行部に入って、西部小興安嶺を縦断したのを皮切り、探検による発見にのめり込み、

朝鮮北部狼林山脈を踏破、翌年にかけて カラフト探検、

卒業。副手となり、応用植物学講座を担当。京都大学探検地理学会の ミクロネシア調査に参加、

臨時召集されるも、すぐに解除となり、副手のまま、財団法人木原生物学研究所の囑託になる。

創価学会検挙 1943 = 27歳：

満州国軍小興安嶺調査隊に参加。

年金+総武装 1944 = 28歳：

善隣協会西北研究所所員を兼務し、翌年にかけて、 内モンゴ調査。

敗戦・1945 = 29歳：

再び臨時召集されるも、敗戦になって、復員。善隣協会は辞職し、木原生物学研究所の副所員になる。

新憲法公布・1946 = 30歳：

この年、京都大学の桑原武夫が発表した「第二芸術論」が、俳句や短歌の世界に衝撃を与え、俳壇や歌壇の反論が及び腰で、簡単に切り返された時、独自の論をもって食って掛かり、桑原は返答に窮している。

極東裁判判決・1948 = 32歳：

稻垣和子と結婚し、

三大事件・1949 = 33歳：

長女百合子が誕生。京都大学農学部副手を辞職し、浪速大学農学部遺伝育種学講座の講師になる。

独立回復・1951 = 35歳：

浪速大学(のち大阪府立大学)農学部助教授になり、

メデー事件・1952 = 36歳：

次女麻里子が誕生。西岡京治が浪速大学農学部に入學。日本山岳会マナスル踏査隊に参加して飛躍、

TV放送始・1953 = 37歳：

「日本山岳会マナスル登山隊科学班のメンバーになって詳しく調査、ネパール・ヒマラヤの照葉樹林帯における植生や生態系を調査する中で、そこに生活する人々の文化要素に日本との共通点が多いことを発見、"照葉樹林文化論"を提唱するようになる。

55年体制始・1955 = 39歳：

浪速大学大学院農学研究科修士課程の園芸学の授業を分担まもなく、浪速大学は大阪府立大学に名称変更。

なべ底不況・1957 = 41歳：

京都大学カラコルム・ヒンズークシ探検に参加、

イスタラマ・1958 = 42歳：

ブータン王妃が日本を訪問した際に案内して、日本人で初めてブータン王国から招待され、

美智子妃・1959 = 43歳：

長らく鎖国状態だったブータン国内を隈なく調査し、

安保闘争・1960 = 44歳：

ロックフェラー財団の助成で、シッキム、アッサムを調査。毎日新聞社より「秘境ブータン」を出版して、

タイタイ病始・1961 = 45歳：

日本エッセイスト・クラブより第8回エッセイスト・クラブ賞。

全国総合計画 1962 = 46歳：

大阪府立大学農学部教授になる。

大阪府立大学東北ネパール学術調査隊長になったが、コロンボ・プランから農業指導者の派遣を求められていたことから、門下の西岡京治を副隊長とし、その妻里子とともにブータンのドルジ首相に紹介、以後、夫婦でブータンの農業振興に尽くすことになる。論文「Studies on the taxonomy, origins and transmittance of the crops in the Sino-Himalayan range」により、京都大学から農学博士の学位を授与される。文化振興につくした業績で、なにわ賞。

東京リボルブ・1964 = 48歳：

毎日新聞社より「ヒマラヤの花：Living Himalayan Flowers」,

大学紛争始・1965 = 49歳：

大阪府立大学農学部附属農場長を兼務、大学院農学研究科博士課程授業分担し、同修士課程を担当。

いざなぎ景気 1966 = 50歳：

ライフワークたる専門領域の成果をまとめ、思いをこめて、岩波新書で「栽培植物と農耕の起源」を出版、現在も続くロングセラーになっている。

霞ヶ関ビル・1968 = 52歳：

講談社現代新書で「アジア文化探検」。京都大学大サハラ学術探検隊に参加し、西アフリカ全域を回る。

全共闘ビーク・1969 = 53歳：

講談社から「ニジェールからナイルへ：農業起源の旅」。\*戦後日本人が提唱した学説のなかでも、独創的かつ雄大な「照葉樹林文化論」であったが、本人が体系化して著書にしなかったこともあって、この年、上山春平編で、佐々木高明らとともに、中公新書「照葉樹林文化：日本文化の深層」として出版されると、縄文文化との関係をはじめ、各方面に大きな影響をもたらす。

大阪万博・1970 = 54歳：

農場長を辞任し、農学研究科博士課程担当兼務になる。

ドルショック・1971 = 55歳：

「秘境ブータン」が社会思想社の現代教養文庫に入る。

日中国交回復 1972 = 56歳：

NHKブックスで「料理の起源」,

石油ショック 1973 = 57歳：

角栄金脈辞任 1974 = 58歳：

妻和子が死去。

田中角栄逮捕 1976 = 60歳：

大阪府立大学評議員。上山春平・佐々木高明と中公新書で「続・照葉樹林文化」、中央公論社の自然選書で「栽培植物の世界」。個人で、西ヨーロッパ諸国を調査後、日本科学協会の助成で、東南アジア諸国を調査。

JALハイジャック・1977 = 61歳：

個人で、地中海沿岸諸国を調査し、中国諸国から招待される。

成田衝突・1978 = 62歳：

国立民族学博物館評議員。国際遺伝学会出席を兼ねて、ソ連を訪問後、文部省科学研究費により、東南アジア諸国を調査。\*ついに自らまとめた「照葉樹林文化論」を、「現代文明ふたつの源流」として朝日選書で出版したが、この中で歌垣の文化について興味深い仮説を述べている。

革新大敗北・1979 = 63歳：

貿易摩擦問題 1980 = 64歳：

大阪府立大学農学部教授を停年退職し、鹿児島大学水産学部附属水産実験所の教授から、同大学南方地域総合研究センター長に転じ、文部省科学研究費でパプア・ニューギニア、ソロモン調査後、

1981 = 65歳：

鹿児島大学南方海域総合研究センター長に転じる。個人で、インド、ネパールを、続いて、南太平洋を調査し、さらに、ブータンを再訪。翌年にかけて、鹿児島大学南方海域研究センター・オセアニア海域における水陸総合学術調査隊長として、フィジーを調査。

中曽根内閣・1982 = 66歳：

鹿児島大学南方海域総合研究センター教授を停年退官、

1984 = 68歳：

朝日新聞社から、ブータンから恩人になった西岡京治と「ブータンの花：Flowers of Bhutan」。個人で、中国雲南省麗江を調査したのが、探検人生の最後となり、前年の岩波新書「花と木の文化史」で、毎日新聞社出版文化賞。

竹下登内閣・1987 = 71歳：

リクルート事件・1988 = 72歳：

勲三等旭日中綬章、

昭和天皇没・1989 = 73歳：

\*「栽培植物と農耕の起源に関する文化複合の民族植物学的研究」で、秩父宮記念学術賞。大学教育でやってみたいと思いながら果たせなかったためにと、小学校の時に読みふけた「牧野日本植物図鑑」の分類の独創性を再確認するのかなような「分類の発想：思考のルールをつくる」を朝日選書で出版、本人は「かなり独断と偏見に満ち、錯誤も相当入っているはずだ」と断っていたが、その後、諸物を体系的に整理しようとする多くの分野の研究者らに広く影響を及ぼすことになる。

ドイツ統一・1990 = 74歳：

ブータン国最高の荣誉である"ダシヨー"の称号まで贈られていた西岡京治が死去し、ブータン国葬、

バブル崩壊・1992 = 76歳：

没した。

55年体制終・1993 = 77歳：

京都市北区紫野西野町で、

学術情報センターホームページ、池内紀「二列目の人生～隠れた異才たち～」,